

國 際 經 濟 報 週

昭和十九年九月三日 第三千九百九十九號
週一 四 十 日 設 行

(NO. 1188, 89合併) 號 一 第 卷 四 廿 第

行 發 日 一 月 一 年 八 十 和 昭

號 大 倍 年 新

【主要目次】

世界大戰と世界經濟

世界戰局の展望	三
獨逸經濟の長期戰態勢	六
獨逸占領地行政の全貌	三
伊太利の戰時經濟	六
米國戰時生産力の現状	三
英・加・濠の抗戰力	三
戰爭に動搖する印度	三
ソ聯抗戰力の檢討	三
歐洲中立國の趨勢	三
中南米諸國の動向	三
支那大陸の俯瞰	三
取引所機構の改革	三
支那經濟再編成の過程	三
米國軍擴工作の兩面	三
金・銀・人間(時評)	三

本號に限り 定價六十錢

國際經濟週報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
每週一冊 土曜日發行

(NO. 1190)

號二第

卷四廿第

行發日九月一年八十和昭

【主要目次】

思想戰を勝抜くために(時評)……………七

論 生産力増強の要請……………二

大銀行合同の意義……………三

ダurlラン暗殺と北阿の情勢……………三

セレベス棉花増産計畫の全貌(上)……………三

南支金融界の回顧……………三

日本戰時經濟本年の課題

政治經濟の總動員態勢……………四

統制會發展の方途……………七

金融界今後の辿路……………一〇

皇國農村確立と食糧政策……………一三

勞務對策問題の所在……………一七

最近の歐洲株式界の展望……………一八

フランス帝國の消長……………二〇

米國戰爭經濟の分析(12)……………二二

化學工業の話(一)……………二四

定價三十錢

同盟通信社

大正九年十月九日第三號
每週一冊 土曜前發行

國 際 經 濟 報 週

(NO. 1191)

號 三 第

卷 四 廿 第

行 發 日 六 十 月 一 年 八 十 和 昭

【主要目次】

國 際 宣 傳 戰 (時評) 七

論 最終的企業整備の必要 二

國 民 政 府 參 戰 の 意 義 三

米 大 統 領 教 書 を 衝 く 三

滿 洲 の 第 二 建 設 を み る (座談會) 三

セ レ ベ ス 棉 花 增 產 計 畫 の 全 貌 (下) 六

中 聯 券 果 膨 脹 乎 高 尙 仁 云

大 東 亞 經 濟 建 設 の 現 狀 四

滿 洲 國 支 那

蒙 疆 南 方 諸 域

印 度 に 於 け る 農 工 業 の 諸 問 題 ム ケ ル ジ 一 吾

米 國 戰 時 諸 機 關 の 組 織 壹

米 國 戰 争 經 濟 の 分 析 (13) 壹

英 國 護 送 船 團 の 構 成 と 大 西 洋 航 路 七

納 稅 施 設 法 案 の 概 要 七

大 銀 行 合 同 の 解 剖 四

化 學 工 業 の 話 (2) 四

定 價 三 十 錢

國際經濟 報 週

(NO. 1192)

號 四 第

卷 四 廿 第

行 發 日 三 廿 月 一 年 八 十 和 昭

【主要目次】

新 し き 外 交 (時評) 七

論 増 稅 の 意 義 二

共 榮 圈 の 物 價 政 策 三

重 慶 の 動 向 三

出 版 總 力 の 組 織 化 四

開 發 に 邁 進 す る 華 北 の 資 源 五

獨 ソ 戰 局 の 現 況 七

米國戰時財政經濟の發展

戰 時 財 政 の 解 剖 五

イ ン フ レ ー シ ョ ン 問 題 八

統 制 機 構 の 變 貌 九

經 濟 統 制 の 進 展 三

ボ ー ラ ン ド 總 督 管 區 の 近 狀 三

米 國 戰 争 經 濟 の 分 析 (13) 三

戰 時 に 於 ける 節 約 と 緊 縮 カシモフスキー 論

印 度 に 於 ける 農 工 業 の 諸 問 題 (二) ムケルジ 論

明 年 度 特 別 會 計 豫 算 完

株 取 機 構 改 革 問 題 の 回 顧 三

化 學 工 業 の 話 (3) 三

定 價 三 十 錢

大正九年十月九日第三號(臨時) 每星期一四七 日 發行

國 際 經 濟 報 週

(NO. 1193)

號 五 第

卷 四 廿 第

行 發 日 十 三 月 一 年 八 十 和 昭

【主要目次】

決戰議會の課題(時評).....	七
論 廣域交易の實現.....	二
生 產 行 政 の 強 化.....	三
地 中 海 の 風 雲.....	三
國府の戰時機構成る.....	四
重慶現下の物價政策.....	六
上海錢莊の研究(上).....	九
戰 局 の 進 展.....	四
米國戰爭觀の解剖.....	六
建艦計畫の中核.....	八
米軍需生産力批判.....	一〇
印度に於ける農工業の諸問題(宛).....ムケルジ	一〇
チリ一の對樞軸斷交.....	一五
トルコを繞る經濟戰.....	一六
米國戰爭經濟の分析(15).....	一六
日獨伊・日佛印經濟協定.....	一七
增 稅 案 の 解 說.....	一七

定 價 三 十 錢

大正九年十月十日第三編印行
第一回土曜日發行

國際經濟 報 週

(NO. 1194)

號 六 第

卷 四 廿 第

行 發 日 六 月 二 年 八 十 和 昭

【主要目次】

勞務動員の智慧(時評).....	七
東條首相の施政演説.....	二
カサブランカ會談の正體.....	三
木造船の示唆.....	三
地方分散の傾向.....	四
日佛印協定と佛印の經濟.....	三
上海錢莊の研究(下).....	七
決戰議會と生産増強	
生産行政の一元化.....	五
國民皆勞體制の確立.....	七
輸送力の重點的強化.....	九
食糧増産の現段階.....	三
未知の寶庫・北ボルネオ.....	波多尙元
印度は斯く見る.....	シリダラーニ
ドイツ金融界の動向.....	スイス紙高
決戰を挑む米國の生産活動.....	津田正夫
ソ聯の反革命サボターシュ.....	ソ聯紙元
米國戰爭經濟の分析(16).....	四
化學工業の話(四).....	四

定 價 三 十 錢

同 盟 通 信 社

國際經濟 報 週

(NO. 1195)

號 七 第

卷 四 廿 第

行 發 日 三 十 月 二 年 八 十 和 昭

【主 要 目 次】

西南太平洋の戦局(時評).....	七
論 決 戰 議 會 の 論 議.....	二
三 民 主 義 の 闘 争.....	三
註 スターリングラードの教訓.....	三
ニユーギニア、ソロモン諸島の全貌.....	三
比島獨立問題とその現状.....	三

交戦各國の陣營を見る

ドイツの戦時態勢.....	四
イタリアの戦時機構.....	七
米國の内幕を解く.....	九
英國の崩壊を支へるもの.....	三
ソ聯の抗戦陣營を見る.....	三

イタリアの財政と經濟.....	六
北 阿 騷 擾 の 俯 瞰.....	四
米國戰爭經濟の分析(17).....	四
化 學 工 業 の 話 (五).....	四
ヒットラー總統の必勝宣言全文.....	三

定 價 三 十 錢

國際經濟 報週

(NO. 1196)

號八第

卷四廿第

行發日十二月二年八十和昭

【主要目次】

戰爭指導の一課題(時評).....	二七
決戰議會と大東亞問題.....	二
世界戰爭の決戰段階.....	三
論	
ガンプレーの斷食.....	三
重慶をめぐる米英.....	三
危機に備へる濠洲.....	三
日勃文化協定成立の意義.....	三

決戰下各國の食糧問題

戰爭に備ふドイツの食糧.....	四
イタリヤの食糧確保.....	六
米國の食糧問題.....	七
食糧對策に悩む英國.....	九
戰ふソ聯の食糧事情.....	三

對ソ戰下のドイツ軍票.....	三
英國金融政策の史的發展(上).....	三
米英の社會保險(米國の部).....	六
米國戰爭經濟の分析(十八).....	七
十八年度戰費豫算の全貌.....	九
化學工業の話(六).....	四
關東軍報道演習見學記.....	四

定價三十錢

國際經濟

週報

大正九年十月九日第三編發行
每週一四七號日發行

(NO. 1197)

號九第

卷四廿第

行發日七廿月二年八十和昭

【主要目次】

企業經營論雜俎(時評).....	七
對支政策の階段.....	二
重慶政權の苦悶.....	三
論 噴ふべき歐大陸上陸作戰.....	三
國府參戰と南支經濟.....	六
西北支那を衝く(座談會).....	三

ドイツ戰時工業の現勢(上)

對ソ戰と戰時經濟 經濟政策の轉換.....	ベルリン支局
軍需生産の飛躍 合理化と集中.....	池上幹德
規格統一と大量生産 技術の交流.....	
原料節約と配給適正 價格政策.....	

ドイツ不急産業の全的停止.....	品
米英の社會保險(英國の部).....	壹
英國金融政策の史的展望(中).....	毛
米國戰爭經濟の分析(19).....	完
昨年度下期本邦事業成績.....	四
化學工業の話(六).....	四

定價三十錢

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一冊土曜日發行

國際經濟 報 週

(NO. 1198)

號 十 第

卷 四 廿 第

行 發 日 六 月 三 年 八 十 和 昭

【主要目次】

決戰意識の昂揚(時評).....	二
米寇と思想防空.....	二
反樞軸陣營の苦悶.....	三
東洋とフランス.....	三
西北支那を衝く(中)〔座談會〕.....	三
米國戰爭經濟の分析(20).....	三
企業の新動向を探る	
企業經營の「在り方」.....	四
重工業と輕工業.....	七
中小企業再編の強化.....	九
英國金融政策の史的展望(下).....	三
各國における婦人勞働問題.....	七
國家的統制と企業の創意.....ワルター・フンク	三
外貨債處理の根本策.....	四
化學工業の話(八).....	四
滿洲重工業のぞ記 國通本社大岩和嘉雄	元
ドイツ戰時工業の現勢(下) ヘルリン支局 池上幹徳	元

定 價 三 十 錢

國際經濟 報 週

(NO. 1199)

號一十第

卷四廿第

行發日三十月三年八十和昭

【主要目次】

新中國に期待する(時評).....	七
論 戦争と言論.....	二
支那の第四革命.....	三
ガシデー断食の成果.....	三
滿炭改組と一業一社主義の放棄.....	三
西北支那を衝く(下)(座談會).....	四
在支租界問題の展望	
列強の進出と日本.....	四
租界の盛衰.....	七
支那事變と租界.....	九
大東亞戦争と租界.....	一〇
終幕迫る獨ソ冬季戦の現況.....	一七
ドイツ企業の現状.....	一〇
米國戦争經濟の分析(上).....	一六
我が國人口増加の趨勢(上).....	一六
化學工業の話(九).....	一四
南方より還りて.....大森吉五郎監	一四

定價三十錢

國際經濟 週報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一號土曜日出行

(NO. 1200)

號二十第

卷四廿第

行發日十二月三年八十和昭

【主要目次】

反樞軸陣營の同床異夢(時評)……………七

論 決戰議會の成果……………二

敵愾心について……………三

佛印經濟の對日寄與……………六

ビヅアリツヂ案の波紋……………六

交戦各國の輸送力對策……………四

日 本 ドイツ イタリア

アメリカ イギリス ソ 聯

グアチカンを繞る最近の政情……………三

米國戰爭經濟の分析(22)……………三

戰時刑法改正の焦點……………五

昨年下期七大銀行業績……………六

我が國人口増加の趨勢(中)……………三

化學工業の話(十)……………四

定價三十錢

同盟通信社

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一冊土曜日發行

國際經濟 週報

(NO. 1201)

號三十第

卷四廿第

行發日七廿月三年八十和昭



【主要目次】

人と制度との一體化(時評).....	七
論 新しき獨立.....	二
獨軍南部反撃の成功.....	三
本然の途を往く日華協同.....	三
對聯銀信用供與の意義.....	三
寶庫スマトラの開発.....	三
戰爭・金問題・ドル.....	六

決戦農業當面の課題

實踐に直面せる適正規模.....	四
米・繭價格改訂論の検討.....	六
新農業體制確立への動き.....	六

米英金政策の矛盾.....	六
米國武器貸與の現況.....	六
米國戰爭經濟の分析(23).....	六
英國海運界の近狀.....	七
トルコの財政と貿易.....	七
我が國人口増加の原動力(下).....	七
東京都麹町區日比谷公園二番地(市政會館)の 新體制.....	三
時事通信社の話(11).....	四

世界週報編輯部

定價三十錢